

16. 男女共同参画社会推進委員会

日本数学会が 2013 年 11 月 1 日より 2014 年 10 月 31 日の期間担当する、男女共同参画学協会連絡会（2001 年 10 月発足。参照 URL:

http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/doc_pdf/poster/poster_130919.pdf) の第 12 期幹事学会に関連する報告をいたします。

学協会連絡会幹事学会の主たる業務は

- ・運営委員会（年数回）の開催・運営
- ・毎年 10 月初旬に行われるシンポジウムの企画・主催
- ・各種 WG の活動推進・把握
- ・大規模アンケート実施およびその数値データに基づく提言・要望書の作成
- ・夏の学校などの各種イベント支援
- ・保育室運営調査（偶数期幹事学会）
- ・女性会員比率調査（奇数期幹事学会）

となっております。

理事会からの要請を受け、男女共同参画社会推進委員会は、情報システム運用委員会の協力を得て実務部分を担当いたしますが、当委員会を拡大した形で、幹事学会運営委員会が、委員長：平田典子氏、副委員長：小磯深幸担当理事、運営委員：当委員会委員に加え、総勢 20 名ほどのメンバーにより 11 月 1 日に発足いたします。本件は理事会の承認を経て、9 月 24 日の評議員会でも周知されました。委員につきましては、委員会名簿ページをご覧ください。

8 月 28 日開催の学協会連絡会第 5 回運営委員会に先立ち、平田・宮岡・柏原賢二・杉山由恵・芥川和雄・酒井高司・張良・高市典子・高良淑子（当幹事学会担当：臨時雇用）が出席し、第 11 期幹事学会である動物学会からの引き継ぎを行いました。

愛媛学会時の拡大委員会におきましては、拡大メンバーも加えて仕事分担の審議を行い、11 月からの業務と、最大のイベントである 2014 年 10 月 4 日東大数理にて開催予定のシンポジウム企画の役割分担を決定し、幹事学会運営体制が整いました。学協会連絡会の設立目的である「自然

科学分野の男女共同参画推進」に向けて、会員の皆様のご協力をあおぎつつ、一歩でも前進できるよう努力して参ります。

（男女共同参画社会推進委員長

宮岡礼子 記）